

自然観察会報告
清水黒川の観察会
横山謙二



コースの説明をする昆虫同好会の清さん



観察された植物について説明をする阪尾さん

5月11日に、興津川支流の黒川で自然観察会を行いました。この観察会は、静岡昆虫同好会と共催で、2007年から毎年行っている人気の観察会です。例年ですと、午前中は、主に昆虫の観察、午後は黒川で水生生物の観察を行っていましたが、今回は午前中の昆虫の観察会のみ行いました。それでも、昆虫好きの子供から大人まで、50人も人が集まりました。また、今回の観察会では、静岡植物研究会の阪尾さんに来ていただき、植物についても解説してもらいました。

この観察会のコースは、やすらぎの森管理センター前から、平山・炭焼林道を穂積神社方向に林道沿いを歩き、黒川の右岸の小さな広場のところで、折り返します。出発して、すぐのところの黒川キャンプ場付近は、ツツジの花が咲き、花に吸蜜するチョウが観察できるところになっています。今年は、ツツジの花が終わり始めていましたが、ジャコウネコアゲハやオナガアゲハなどのアゲハチョウの仲間が観察できました。

去年は寒く、あまり昆虫は観察できませんでしたが、今年は暖かく、チョウが所々で飛び交っていたので、参加された人達は、夢中になってチョウを追いかけていました。

11時ごろに、折り返し地点の小さな広場に、

到着しました。私は2年前に、この小さな広場で、静岡県では、ほとんど記録のないイシガケチョウを目撃し、写真に撮りました(駿河の昆虫240, 6612-6613)。イシガケチョウは紀伊半島以南に生息し、静岡県内では過去に何度か迷蝶として観察・採集されたことがあります。このチョウは、現在、県内での繁殖は確認されていませんが、将来的に県内に分布を拡大する可能性があるといわれています。自分は、ここに来るたびに『また見られるのでは?』とひそかに期待し、何度も通っているのですが、再び観察できたことはありません。

広場では阪尾さんに、今回見られた植物の説明をしていただきました。その後、折り返し、やすらぎの森にもどり観察会を終了しました。この観察会ではジャコウアゲハとオナガアゲハが多く採集され、中にはツマキチョウを採集した人もいました。また、今回は見られませんでした。この黒川周辺では、最近、オオムラサキが見られたこともあるそうです。私は、まだオオムラサキを見たことがないので、ぜひまた黒川に来てオオムラサキを探したいと思います。またイシガケチョウやオオムラサキ以外の新たな珍しい発見もあるかもしれません。